

資料館だより

2015年5月 II-6
相生市立歴史民俗資料館

藤本東一良・福田眉仙の絵を展示しました



相生市立歴史民俗資料館は常設展示の充実をめざしています。新年度に入り、新しく二枚の絵画を展示しました。一枚は藤本東一良画伯の進水式の絵、もう一枚は福田眉仙画伯の淡彩山水図です。

藤本東一良(1913~1998)は、下田生まれの大阪育ち、藤本家は赤穂で代々回船業を営み、東一良も小さいときにたびたび赤穂を訪れました。

この絵は15号の油彩で、1952年2月8日、第二雄洋丸の進水式を描いています。ダイヤモンドHの播磨造船所社旗やクス玉の割れる様子まで細かく描きこまれています。画伯の絵では船体は赤ですが、絵葉書では青に塗られています。船によっては錆止めを塗った段階で進水し、その後にドックに入れて塗装することもあるらしく、画伯の絵も進水記念絵葉書も正確に描かれているようです。



福田眉仙
絹本墨画淡彩山水図

大きさは横が約80糎で額装されています。昭和13年11月26日の新聞が箱に詰められていましたので、それ以前の作品であると思われます。

歴史講座で写真集を作成

歴史民俗資料館では昨年度から歴史講座を開講しています。2014(H26)年度は「写真集を作ろう」で各自がテーマに取り組み、一年をかけて写真集をつくりました。「国道2号線の変遷」「皆勤橋の歴史」「私と相生 古池・天下台・池之内」「長崎から播磨造船所に来た技師の記録」「ふるさと相生の頌徳費」「那波の町 変遷」という六つ写真集が完成しましたので、2014年度歴史講座「写真集を作ろう」作品集として合本しました(非売品)。



2014(H26)年度
相生市立歴史民俗資料館歴史講座
「写真集を作ろう」作品集

今年度の歴史講座は、昨年度の写真集・史跡巡りに古文書入門が加わりました。古文書入門は「奥の細道」を教材にくずし字等を学ぶことから始め、続いて村文書に取り組む予定です。古文書講座は毎月一回で宿題があります。



図書館2階での古文書講座
歴史講座の問い合わせは
23-2961 歴史民俗資料館

歴史講座「写真集を作ろうⅡ」は、平成4年に市制50周年で作成された相生ふるさと散歩の改訂版を作ります。旧矢野村については、矢野町まちづくり推進委員会から「矢野ふるさと散歩」が発行されていますので、今回は旧若狭野村・旧那波村・旧相生村地域を調べる予定です。下は岡田余香園を写した絵葉書で、相生ふるさと散歩に次のような解説が載っています。今回の改訂では、画像を増やしビジュアルに読みやすく、そして、写真集を手にも町を歩いてみようというものを作ります。



三宝荒神から東へ約百米の山の中腹に、招仙台と刻まれた自然石がある。慶応年間に那波の岡田太平治が果樹園を開き、その功績により明治11年に建立されたものである。相生ふるさと散歩より